

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和6年度 第3号 R6.5.24 (金)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「行事の準備が進んでいます」

中間テストが終わり、1年生は近江八幡への宿泊学習、2年生は大正区を中心とした大阪市内への企業見学、3年生は愛知・岐阜方面への修学旅行の準備に精を出しています。学校行事は準備の取り組み・当日・事後の取り組みで構成されていますが、一番重要なところが事前準備です。社会に出たときに役に立つ、テストでは測れない力（非認知能力）を伸ばす絶好のチャンスです。しっかり取り組んでほしいです。

「安全祈願」

今月、本校の大切な生徒を交通事故で亡くしました。本当に辛く悲しい出来事です。彼の冥福を祈るとともに、もう二度とこのような事故が起きてほしくないという思いでいっぱいです。

事故は誰か一人でも油断をすると起きてしまいます。みんなが気をつけて自分の安全を守れるように、学校ができることを考えています。通学路でもいくつか気になる箇所があります。一つは正門前の道路です。本校の生徒は全員正門から登下校します。ここを通過する車がスピードを落とさないため、危険を感じています。もちろん、生徒たちにも「歩道からはみ出さないように」や、「道路を横断するときに十分注意するように」と指導していますが、ドライバーにも気をつけてもらわなければなりません。先日、市役所に道路の「T」の印や「とびだし注意」などの剥がれた塗装を塗り直してほしいことと、少しでも車がスピードを落とすような注意喚起の方法を提案してきました。迅速に対応していただけますように。

「BASE in OSAKA」

最近、全国的に英語教育が大きく変わってきています。伝えたいことがあるけど、相手が日本語でコミュニケーションが取れない場合、やはり世界の公用語である英語を使いこなせないと前に進めません。

今の英語教育は、自分の想いや考えを表現し、英語で伝え合うことを目標としています。日本語をはじめ他の言語も同じですが、型にはまった表現にはこだわらず、会話をやりとりしながら、必要な内容を伝えられることが大事です。ただ、そのためには伝えたいことをあらかず単語やフレーズを知らなければなりません。つまり、実用英語を身につけることが重要視されているのです。

今年度、本校では英語の時間に大阪府教育委員会が開発した教材「BASE in OSAKA」を活用して「英語を聞くこと」や「英語を話すこと」の学習を進めていきます。AIが自動採点してくれ、英語検定のテスト対策もできます。今年度は全生徒にIDが付与されており、家庭学習にも活用できます。学校の一斉授業ではみんなの声が混ざってしまうため、ヘッドセットをつけてマイクで声を拾っていますが、家で静かな環境であれば必要ありません。個人の技量に合わせてレベルアップしていく個別最適な学びを進めることができます。今年度いっぱいはいは使い放題ですので、是非積極的に活用してほしいと思います。

ホームページに授業の様子をアップしています。チェックしてみてください。

↓こちらからホームページに入れます。



<http://academic4.plala.or.jp/fujisan/>